

ふりがな 氏 名	ほり さちこ 堀 祥子	職 名	准教授
取 得 学 位	修士(教育学)	学会での受賞歴	第67回中部美術文化展努力賞(平成30年10月) 美術文化協会 会友推挙(平成31年4月) 第79回美術文化展入選(平成31年4月) 第68回中部美術文化展努力賞(令和1年11月) 第80回美術文化展佳作賞(令和3年4月) 第70回中部美術文化展努力賞(令和3年11月)
主な担当科目	基礎造形、保育内容演習(表現)、教育実習指導、海外スクールインターンシップ、幼児と表現		
所 属 学 会	日本保育学会／日本美術教育学会／こども環境学会／大学美術教育学会／日本教育メディア学会／日本色彩学会		

◆ 教育業績

事 項	実 施 年月(日)	概 要
単行本「造形教育の基本」編集委員会	平成29年 4月	造形教科書の原稿執筆、閲覧に携わった。
図画校工作科鑑賞教育研究会での提案(岐阜大学 附属小学校)	平成31年 2月	図画工作科鑑賞教育の研究会において、小学校教員対象にワールドカフェ法を用いた美術館鑑賞後のリフレクションの実践法について提案した。
ぎふワークショップギャザリング企画、造形ワークショ ップ実践	平成31年 2月	岐阜県美術館主催にあたり、企画について提言し、学生主体のワークショップ実施の指導にあたった。(平成28年より実施)
造形ワークショップ実践(北九州市小倉 大學堂)	平成31年 2月	幼児～おとな対象に繊維素材等を活用したものづくりプログラム企画と実施した。(平成27年より実施)
地域貢献事業 造形ワークショップ(瑞穂児童館)	平成31年 2月	瑞穂児童館にて子ども対象の繊維素材等を利用したものづくりプログラム企画と実施した。瑞穂児童館・名古屋女子大学総合科学研究所共催事業。(平成24年より実施)
造形ワークショップ実践(トヨタ産業技術記念館)	令和元年 5月	トヨタ産業技術記念館において小学生対象の繊維素材を利用したものづくりプログラム企画と実施した。(平成24年より実施)
アジア文化造形学会中部支部講演会 講師	令和元年 7月	愛知県芸術文化センターにおいて「もの・こと・ひとをつなぐ造形遊び」をテーマに講演とワークショップを行った。
教員免許更新講習B講習	令和元年 8月	「造形遊びを軸にした表現と教材検討」をテーマに実施した。(平成25、26年8月にも実施)
教育実習指導(幼稚園・小学校)と連動した学 生の実践的な知識理解のためのセミナーの企 画と開催	令和元年 6、7、10月	教育実習指導と連動した外部専門家によるセミナーを企画実施した。公立幼稚園園長経験者や他大学などから講師を招聘し、高次の専門性と実践的な知識

事 項	実 施 年月(日)	概 要
造形鑑賞ワークショップ実践（岐阜市・名和昆虫博物館）	令和元年 10月	理解を深め、学修内容と結びつけることで学生の実習内容の充実を図った。（平成26年より実施）  岐阜市とNPO 法人主催の着地型観光イベント「長良川おんぱく」にて親子鑑賞プログラム提供。博物館と協働で幼児から小学生とその保護者を対象に、対話形式でのカメラを用いたワークショップを開発し、実践した。
対話型ワークショップ実践(各務原市・学びの森)	令和元年 11月	各務原市主催の地域活性イベント「マーケット日和」にて、招聘した他分野の研究者らと協働で、一般市民対象に対話型ワークショップを企画し、実践した。
名古屋市教育委員会主催土曜プログラム講師	令和2年 2月	小学生を対象に対話型鑑賞法の実践をした。（平成31年より実施）
造形ワークショップ実践(刈谷市総合文化センター)	令和2年 7月	刈谷市内の親子を対象とした造形講座を依頼され、実施した。錯視をテーマにした工作と鑑賞活動を実践した。
幼稚園実習手引きの作成	令和3年 4月	幼稚園実習指導で使用する授業テキストを改定、編集した。（平成26年度より実施）
地域貢献と連動した学生の実践的な知識理解と学びの公開のためのセミナーの企画と開催 (プロジェクト名称/学びのつくりかた)	令和3年 6、10月、令和4年3月	地域貢献と連動した外部専門家によるセミナーを企画実施した。他大学などから講師を招聘し、高次の専門性と実践的な知識理解を深め、学修内容と結びつけることで学生の実習内容の充実を図った。また、ゼミ活動を中心とした学びの成果の地域への還元を目的とする催しの計画と実施を図った。
あいちワークショップギャザリング企画運営、造形ワークショップ実践	令和3年 11月、令和4年3月	中部大学、椋山女学園大学と協同し、ものづくりワークショップの展覧会を企画実施およびゼミナール学生主体によるワークショップ実践の指導にあたった。（平成26年～令和元年と今回実施）
造形ワークショップ実践（椋山女学園大学）	令和3年 11月	文化情報学部メディア情報科宮下研究室「映像・音響情報論」において、学生を対象とした繊維素材等を利用したものづくりプログラム企画と実施した。（平成23年より実施）

◆ 研究業績

区分	著書・論文・発表テーマ・作品・演目などの名称	単・共	発行・発表年月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏会の名称(会場名)	備考
論文	教員養成校における創造的思索の構築のための教育カリキュラムの検討II-芸術・教育哲学の観点から - (最終報告)	共	平成 29 年 5 月	名古屋女子大学総合科学研究所総合科学研究第 11 号	P131～142、145～146 <u>堀祥子</u> ・嶋口裕基
	博物館との協働による図画工作科教育の実践的研究—子ども藍染めワークショップの教材開発及び指導事例から—	単	平成 29 年 11 月	アジア文化造形学会誌第 15 号(査読有)	P27～42 <u>堀祥子</u>
	東北地方の伝統工芸・裂き織りを主題とする造形・美術教育の試み	単	平成 31 年 1 月	アジア文化造形学会中部支部研究報告 Vol.6	P19～20 <u>堀祥子</u>
	アートと学びがクロスする教室からの一考察～アーティストが小学校にやってきた～	共	平成 31 年 1 月	日本美術教育学会「美術教育」NO.303	P170～171 浅尾知子・ <u>堀祥子</u>
	幼児の 5 領域を主題とする「つくる、たべる、おしゃべりする」対話型ワークショップデザインの実践的研究 (中間報)	共	令和元年 5 月	名古屋女子大学総合科学研究所総合科学研究第 13 号	P97～101 <u>堀祥子</u> ・村田あゆみ・阪野朋子
	幼児の 5 領域を主題とする「つくる、たべる、おしゃべりする」対話型ワークショップデザインの実践的研究 (完成報)	共	令和 2 年 5 月	名古屋女子大学総合科学研究所総合科学研究第 14 号	P107～119 <u>堀祥子</u> ・村田あゆみ・阪野朋子
	保育者・教員養成校のゼミ活動におけるオンラインアートワークショップの実践と学びの考察 -あいちワークショップギャザリングを起点とする事例から-	単	令和 2 年 12 月	日本教育メディア学会研究論集第 50 号	P1～10 <u>堀祥子</u>
ワークショップにおける「対話・時間・空間」の映像アーカイブとアートコミュニティデザインの試み	単	令和 3 年 3 月	愛知県立芸術大学美術研究科博士後期課程研究報告書	P23～32 <u>堀祥子</u>	
研究ノート	地域のものづくりに親しむ図画工作・美術教育の教材開発研究	単	平成 30 年 9 月	アジア文化造形学会誌第 16 号(査読有)	P48～60 <u>堀祥子</u>
学会発表	保育者養成校における基礎造形的資質活用のための実践的研究	単	平成 29 年 5 月	第 70 回日本保育学会	ポスター発表 <u>堀祥子</u>
	ものづくりに親しむ図画工作・美	単	平成 29 年	第 3 回アジア文化造形	口頭発表

区 分	著書・論文・発表テーマ・ 作品・演目などの名称	単 ・ 共	発 行・ 発 表 年 月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏 会の名称(会場名)	備 考
学会発表	術教育のための地域研究		8月	学会学術研究・作品発表大会	<u>堀祥子</u>
	幼児の造形表現における環境と対話の一考察～地域コミュニティを題材にした実践から～	単	平成30年5月	第71回日本保育学会	口頭発表 <u>堀祥子</u>
	アートと学びがクロスする教室からの一考察～アーティストが小学校にやってきた～	共	平成30年8月	第67回日本美術教育学会学術研究大会	口頭発表 浅尾知子・ <u>堀祥子</u>
	地域文化に親しむための図画工作教育での教材開発研究～軽量粘土を用いた題材「本物そっくりにつくろう」を事例に～	単	平成30年8月	第4回アジア文化造形学会学術研究・作品発表大会	口頭発表 <u>堀祥子</u>
	幼児の対話を育む親子表現活動の実践的研究～地域資源を活用したカメラワークショップの開発と考察～	単	令和元年5月	第72回日本保育学会	ポスター発表 <u>堀祥子</u>
	親子の協働対話型アートワークショップの開発と実践研究1～インスタントカメラによる錯視を主題とした造形教材の考察～	共	令和元年9月	第58回大学美術教育学会	ポスター発表 <u>堀祥子</u> ・水野友有
	親子の協働対話型アートワークショップの開発と実践研究2～親子間コミュニケーションに着目した行動観察による実証的検討～	共	令和元年9月	第58回大学美術教育学会	ポスター発表 水野友有・ <u>堀祥子</u>
	Practical Research on the Theme of Traditional Play, as It Relates to Early Childhood care and education	共	令和元年7月	The 20 <sup>th</sup> PECERA International Conference (査読有)	ポスター発表 村田あゆみ・ <u>堀祥子</u>
	大学生の映像制作初学者のための教材開発と授業実践—造形ワークショップ体験動画とスマートフォンに保存された画像を用いたセルフポートレート動画制作—	共	令和2年1月	日本教育メディア学会 2019年度第二回研究会	口頭発表 宮下十有・ <u>堀祥子</u>
	表現と対話で主体性を育む親子鑑賞活動の実践研究1～地域資源と連動したカメラワークショップの開発と考察～	共	令和2年5月	第73回日本保育学会	ポスター発表 <u>堀祥子</u> ・水野友有
	表現と対話で主体性を育む親子	共	令和2年	第73回日本保育学会	ポスター発表

区 分	著書・論文・発表テーマ・ 作品・演目などの名称	単 ・ 共	発 行・ 発 表 年 月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏 会の名称(会場名)	備 考
学会発表	鑑賞活動の実践研究2～人間関係に着目した発達行動学的検討～		5月		水野友有・堀祥子
	Development of a re-education program that fosters the qualities of loving art throughout life	単	令和2年 7月	The 21 <sup>th</sup> PECERA International Conference (査読有)	ポスター発表 堀祥子
	保育者・教員養成校のゼミ活動におけるオンラインアートワークショップの実践と学びの考察-あいちワークショップギャザリングを起点とする事例から-	単	令和2年 12月	日本教育メディア学会 2020年度第二回研究会	口頭発表 堀祥子
	「つながる・広がる・深まる」保育者養成校の大学生の学びと地域連携ワークショップの形-コロナ時代のビフォー・アフターを考える-	共	令和3年5 月	第74回日本保育学会 (オンライン開催)	自主シンポジウム 堀祥子・村田あゆみ・命婦恭子・岩佐明子・木下靖子
	オンラインによる地域連携アートワークショップの試行と考察1-造形活動を支える環境構築の視点から-	共	令和3年5 月	第74回日本保育学会 (オンライン開催)	ポスター発表 堀祥子・水野友有
	オンラインによる地域連携アートワークショップの試行と考察2-他者との相互交渉に着目した「オンライン」と「オフライン」の比較-	共	令和3年5 月	第74回日本保育学会 (オンライン開催)	ポスター発表 水野友有・堀祥子
	Desingning a Pub-style communication system to connect parents, children and researchers.	共	令和3年5 月	The21 <sup>th</sup> PECERA International Conference (査読有)(オンライン開催)	ポスター発表 堀祥子

区 分	著書・論文・発表テーマ・ 作品・演目などの名称	単 ・ 共	発 行・ 発 表 年月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏 会の名称(会場名)	備 考
研究助成金	幼児教育の5領域主題とする「つくる、たべる、おしゃべりする」対話型ワークショップデザインの実践的研究	共	平成30年度	名古屋女子大学総合科学研究所プロジェクト研究費	堀祥子・村田あゆみ・阪野 朋子 249千円
	地域コミュニティ資本を活用した移動式屋台型アートツールと対話型コンテンツの開発	単	平成30、令和元、2年度	名古屋女子大学教育・基盤研究助成費(科研費差額助成)	堀祥子 286千円(H30) 300千円(R1) 216千円(R2)
	美術館博物館等における教育普及事業調査およびニュータイプアートワークショップ開発	単	令和元、2年度	名古屋女子大学教育・基盤研究助成費	堀祥子 280千円(R1) 240千円(R2)
	地域コミュニティ資本を活用した移動式屋台型アートツールと対話型コンテンツの開発	共	平成30、令和元、2年、3年度	日本学術振興会科学研究費助成事業 基盤研究(C):課題番号18K00223	堀祥子・水野友有 3120千円(H30~R3)
	地域を陶冶する「つくる・たべる・おしゃべりする」移動屋台型アートコンテンツの開発	共	令和3年度	日本学術振興会科学研究費助成事業 基盤研究(C):課題番号21K00200	堀祥子・水野友有・東山幸恵 4160千円(R3~R5)
	地域を陶冶する「つくる・たべる・おしゃべりする」移動屋台型アートコンテンツの開発	単	令和3年度	名古屋女子大学教育・基盤研究助成費(科研費差額助成)	堀祥子 640千円(R3)

区 分	著書・論文・発表テーマ・ 作品・演目などの名称	単 ・ 共	発 行・ 発 表 年 月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏 会の名称(会場名)	備 考
講 習 ・ 講 演 会	幼稚園現職教員対象研修会 (愛 知県瀬戸市)	単	平成 29 年 4 月	愛知児童文化学園主催	幼稚園教員対象に幼児の表現 領域をテーマに講演会とワーク ショップ実践を行った。
	社外勉強会での講演 (東京都中 央区)	単	平成 30 年 10 月	社外勉強会「創る会」主 催	一般社会人対象に地域資源の 人材育成への活用法について 講演した。
	名古屋市私立幼稚園協会 実技 講習会講師(ウィルあいち)	単	令和 3 年 9 月,10 月	名古屋市私立幼稚園協 会主催	名古屋市内の私立幼稚園教諭 を対象に 3 回連続の実技講座 を依頼され、実施した。鑑賞と 造形あそびをテーマに、講義と 造形活動を実践した。(令和 2 年より実施)
	第 56 回愛知県造形教育研究協 議会パネリスト	単	令和 3 年 11 月	愛知県造形教育研究会 主催	愛知県下の小学校、中学校美 術専科の教員等を対象に、自 身のこれまでの地域連携アート ワークショップ実践について、 考察や今後の展望、社会と学 校教育をつなぐ美術教育の可 可能性について提案した。
	科研費研究成果発表のための自 主シンポジウムパネリストおよびワ ークショップ実施	共	令和 3 年 12 月	岐阜市・ビッカフェギャラ リー	日本学術振興会科学研究費助 成事業基盤研究(C):課題番号 18K00223 の成果発表を地域一 般に開く場として企画、開催し た。これまでの研究内容をポス ター発表した。また、課題内容 にかかわるワークショップを企 画・実践した。会期の最後には 共同研究者らとシンポジウム形 式でプレゼンテーションを行 い、フロアと意見交流を行っ た。
小学校・中学校における図画工 作科鑑賞教育の現職教員指導法 研究会	単	令和 3 年 12 月	海部地方現職教育指 導法研修会主催 津島市高台寺小学校	小・中学校の空き教室に美術 作品を展示し、現職教員およ び在校児童および生徒、他地 区の児童を対象に、技法的解 説など対話方式での鑑賞教 室の実施指導をし、現職教員 と研究会の場を設けた(平成 27 年～令和元年と今回実施)	

区 分	著書・論文・発表テーマ・ 作品・演目などの名称	単 ・ 共	発 行・ 発 表 年月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏 会の名称(会場名)	備 考
著書 執筆物	幼児造形の基礎/乳幼児の造形 表現と造形教材	共	平成 30 年 11 月	(株) 萌文書林	樋口一成 編著 P46～P47, P90～P91, P140～ P141, P174～P175, P260～ P261 <u>堀祥子</u>
雑誌 刊行物	教職・保育職シリーズ4 教育・ 保育の学びプラスワン	共	平成 29 年 12 月	三恵社	P138～143 <u>堀祥子</u> 、他 26 名
	名古屋芸術大学アート&デザイ ンセンター機関紙「B!e」 コラ ム	単	平成 30 年 1 月	名古屋芸術大学	<u>堀祥子</u>
	シリーズ教育・保育の論点教授法 と子ども理解	共	令和元年 7 月	三恵社	P129～136 <u>堀祥子</u> 、他 18 名
	写真から読み解く「領域・環境と 表現」への配慮ー保育者養成校 における教育実習指導のための 思索ー	共	令和 3 年 1 月	児童教育論集第 4 号 令 和 2 年度 三恵社	P85～94 柴田悦子・ <u>堀祥子</u>
展覧会 作品発表	第 67 回中部美術文化展	単	平成 30 年 10 月	名古屋市博物館ギャラ リー	染色作品 努力賞
	個展	単	平成 31 年 2 月	ギャラリー人人、名古屋 市	水彩画を中心とした平面作品
	第 79 回美術文化展	単	平成 31 年 4 月、令和 元年 5 月、 9 月	東京都美術館、愛知県 立美術館、大阪市立美 術館	染色作品
	ギャラリーいまじん 10 周年記念展	単	令和元年 7 月	ギャラリーいまじん、岐 阜市	水彩画作品
	アジア文化造形学会中部支部会 員展	単	令和元年 7 月	愛知県美術館	染色作品、テラコッタ彫塑作品 (平成 25、27 年にも出品)
	第 68 回中部美術文化展		令和元年 11 月	岐阜県美術館	染色作品 努力賞
	第 69 回中部美術文化展	単	令和 2 年 10 月	名古屋市博物館	染色作品
	グループ源流展	単	令和 3 年		染色作品



区 分	著書・論文・発表テーマ・ 作品・演目などの名称	単 ・ 共	発 行・ 発 表 年 月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏 会の名称(会場名)	備 考
			1月	岐阜県美術館	(平成22～28年、30年に出品、 R1年は加藤栄三・東一記念美 術館にて開催、出品)
展覧会 作品発表	第80回記念美術文化展	単	令和3年4 月、6月、8 月	東京都美術館、愛知県 立美術館、京都市京セ ラ美術館	染色作品2点 佳作賞
	第70回中部美術文化展	単	令和3年11 月	名古屋市博物館	染色作品2点 努力賞

◆ 社会貢献活動

事 項	実 施 年 月(日)	概 要
アジア文化造形学会 中部支部 庶務担当	令和元年度	学会支部運営に携わる。(平成26年6月より令和2年3月)
第67回日本美術教育学会学術研究大会三重大会 実行委員	平成30年 8月	学会全国大会でのセッション司会や全体の運営に携わった。
日本色彩学会東海支部 役員	令和3年度	学会支部運営に携わる。
日本色彩学会第53回全国大会(名古屋)実行委員会 委員	令和3年4 月～	学会全国大会の企画と運営に携わる。
全国大学造形美術教育教員養成協議会 委員	令和3年度	全国規模の協議会の事務局として運営に携わる。
岐阜市主催事業リノベーションスクール岐阜 修了	令和3年2 月	岐阜市の商店街の活性化における企画立案、実施に携わる。